

寶塔山

ングに寄り、有名なメロンパンを買って帰宅。夕食の時に、「長距離運転をしたのは、二年ぶり。高速のパーキングに立ち寄ったのも二年ぶりだったよ。」と話しましたが、本当に県外に出ない二年間を過ごしていました。

読経するのが当然でしたが、時期的に諦めました。この二年間の東京近郊の法務は、光顕に託さざる得ませんでした。コロナ感染症で全てのもので変わった感があります。ご葬儀も大きく変わりました。大勢の会葬が控えられ、家族・親族葬が多くなりました。

死別後に現れた症状	割合
社会的交流や日常活動の低下	9%
著しい睡眠障害	9%
摂食・消化器等の障害	4%
集中力の低下	5%
アルコールや薬使用の増加	4%
運動または言語障害	4%

先日、葬儀屋さんと話していると、「直葬も増えてきました。・」との話も聞きました。コロナ感染症が蔓延していた、昨年は仕方ないところでしたが、これからの、ご葬儀や供養について、考えてみましょう。

調査は、実験では僧侶の読経を聞くことで、悲しみが軽くなるということが分かっているが、証明する研究がなされていなかったことから、平成三十年に調査を実施。(コロナ前165名の回答から導き出されたもので、

内訳は、これまでのような葬儀を行った人が53%、近親者に限った葬儀を行った人が43%、葬儀のみが2%、火葬のみも2%という比率。上の図は、愛する人を失った時に、体にはどのような症状が出たかを図表化したものです。親しい人を亡くすと、強い悲しみと、喪失感にとらわれるのは、ごく自然な心の現れです。喪失感からくる、気力、体力の低下は誰にも起こりえます。

「男やもめに蛆がわき女やもめに花が咲く」と言いますが、男性が妻を亡くすと、栄養管理、衛生管理が出来なくなり、勢いアルコールの量が増えて、短命になることは、よく知られているところです。私が、「ペット供養」を行っているのも、可愛がっていたペットを亡くすことで、心身の不調や、うつ病を発症し、人生の価値(QOL)が下がるよりは、葬儀や供養を営んで、ペットの死を受け入れ立ち直る道をお示しするためですが、同様のことが研究にも表されています。

③葬儀に不満を持った人は、身体的症状が出やすい。という、結果が導き出され、それは、経済にも影響を与えるらしく「葬儀が役に立たない」と感じた人は、満足したグループと比べて、一か月に医療費で二万円以上、医薬品に二万円、カウンセリングや精神科に二万円以上費やす人が多いことから葬儀に対する不満が、その後の医療費やカウンセリングにかかる費用の増加を予見させる可能性がある。と結論付けられています。しっかりと葬儀をした方が、心と体に良い影響を与えるということとは、亡くなった方と

寶塔山

のお別れが十分に出来たからこそその満足感によるものと考えてよいでしょう。

関係から、来園者から様々な質問を受けますが、父親の葬儀に際して「院号を断つたら住職から、親不孝のように言われ、院号をつける」と、もつといい世界に行けるとも言われました。本当ですか？」という質問を受けました。

結果、この家族は「寺じまい」され、霊園に建墓されることになりましたが、本当に、そんなものなのかどうかを、日蓮大聖人様にかを、日蓮大聖人様にお伺いしてみましよう。葬儀の引導文で聞かれた方も多いかと思えますが、

「ただし、それぞれの信心によるものである。生前の信心が弱かったならば、日蓮の信仰に繋がらざる者と言っても、通用するものではない。石が下に転がり落ちるように、雨が空から落ちてくるように、地獄に落ちるであろう。その時に、日蓮を恨むのはお門違いだよ。もう一度言つよ、それ

正月のご祈祷しか来ない家族でも、小さい頃からお参りしていると、結婚(入籍の日)、出産(安産・日晴れなど)にお参りしてくれます。そんな機会に、お経を読み、お題目をお唱えしていると、法事の時など、自然に一緒にお唱えしてくれるようになるものです。小さいうちから、お参りをさせておく、お経やお題目に慣れさせておく、そうすれば、あなたが亡くなったときに供養してもらえらることでしょう。私が皆さんにお伝えしている供養の考え方は、一番は忘れないでおくこと。お命日には、少しのお供えをして手を合やすこと。更には、

お経が読めれば、お経をお供えすること。もちろん、お題目だけでも十分伝わります。私がいつもお話しする、「供養の主体は皆さんですよ」こそが、これからの供養の考え方です。ご祈祷や、霊断法に縁があつて、ご信心をされている皆様は、霊験神秘を体験されている方々です。何かことあるたびに、霊断法による指導を受け、その不思議体験の積み重ねにより信心は堅固となり、自然と霊界の門を開くことが出来ます。自分の行く世界を決めるのは、自分自身だと心に留め、明年も益々のご信心に励んで参りましょう。 光法 拝

霊園を経営しているが、霊山へ参る橋也。

「此法華経は三途河にては船となり、死出の山にては大白牛車となり、冥途にては燈となり、霊山へ参る橋也。」

「ただし、それぞれの信心によるものである。生前の信心が弱かったならば、日蓮の信仰に繋がらざる者と言っても、通用するものではない。石が下に転がり落ちるように、雨が空から落ちてくるように、地獄に落ちるであろう。その時に、日蓮を恨むのはお門違いだよ。もう一度言つよ、それ

「今日の話は、いい法事だった。楽しい法事だったよ。」です。こちらからお経本を持って行ったので、親世代だけではなく、小さな子から、小学生の子まで、提婆品、お自我偈の訓読を、大きな声で一緒に読んでくれました。年忌の仏様も、ご先祖様も、孫にお経をあげてもらってきつと喜んでいらつしやるだろうなと思うと、目頭が熱くなりました。 当山は、子供のお参りが多いお寺ですが、

お経が読めれば、お経をお供えすること。もちろん、お題目だけでも十分伝わります。私がいつもお話しする、「供養の主体は皆さんですよ」こそが、これからの供養の考え方です。ご祈祷や、霊断法に縁があつて、ご信心をされている皆様は、霊験神秘を体験されている方々です。何かことあるたびに、霊断法による指導を受け、その不思議体験の積み重ねにより信心は堅固となり、自然と霊界の門を開くことが出来ます。自分の行く世界を決めるのは、自分自身だと心に留め、明年も益々のご信心に励んで参りましょう。 光法 拝

お経が読めれば、お経をお供えすること。もちろん、お題目だけでも十分伝わります。私がいつもお話しする、「供養の主体は皆さんですよ」こそが、これからの供養の考え方です。ご祈祷や、霊断法に縁があつて、ご信心をされている皆様は、霊験神秘を体験されている方々です。何かことあるたびに、霊断法による指導を受け、その不思議体験の積み重ねにより信心は堅固となり、自然と霊界の門を開くことが出来ます。自分の行く世界を決めるのは、自分自身だと心に留め、明年も益々のご信心に励んで参りましょう。 光法 拝